

資料 1

第 7 期 (平成 2 7 年度)
事 業 報 告 書

自 平成 2 7 年 4 月 1 日

至 平成 2 8 年 3 月 3 1 日

一般社団法人全国交通信号工事技術普及協会

平成27年度は、前年度に引き続き、交通信号施設工事に関する諸問題を調査研究し、交通信号施設工事に係る施工技術の向上及び経営の合理化の促進を図るため、

- 調査研究・普及事業
- 技術・技能研修事業
- 交通信号工事士技能検定事業
- 協会の目的達成における必要な事業

等について実施した。

1 業務運営に関する主な行事

主な行事は次のとおりである。

- (1) 総会 平成27年 5月25日(月)
- (2) 理事会(第1回) 平成27年 4月20日(金)
- (第2回) 平成27年 5月25日(月)
- (第3回) 平成28年11月20日(金)
- (第4回) 平成28年 3月 4日(金)

(3) 委員会

ア 総務委員会

理事長、副理事長、各委員会委員長等で構成され、当年度の事業計画に係る課題の推進方法等を検討し、また、各委員会の取組状況の報告を求めて、取組内容、方法、スケジュール等の確認・調整を図った。委員会開催数5回

イ 交通信号工事士技能検定委員会

業務分野毎に、ハンドブック編纂作業部会、資格更新・技術講習会作業部会、技能検定作業部会を設置し、各事業を推進した。委員会開催数6回

ウ 防災対応委員会

業務分野毎に、防災協定作業部会、交通信号工事甲子園実行作業部会、安全衛生作業部会を設置し、各事業を推進した。委員会開催数8回

エ 交通信号施設の未来を考える会委員会

道路交通安全施設の技術的発展に伴う施工技術を研究する委員会であり、委員会開催回数2回

オ 広報委員会

調査研究成果及び普及に関する広報活動を推進する委員会であり、委員会開催数4回

2 事業の概要

(1) 調査研究・普及事業

ア 技術資料の編纂

ハンドブック編纂作業部会において交通信号施設保守点検ハンドブックを編纂した。なお、設計編は、平成28年度末完成を目指して作成している。

イ 工事技術の標準化

工事及び保守業務の効率化、適正化、全国支援の容易さを目指して、標準化について調査している。

ウ 交通信号工事施工ハンドブックの普及

(ア) 業務執行参考資料として行政関係機関に提供及び更新講習会、交通信号工事士技能検定試験の教本として活用並びに希望者に販売した。

(イ) 改訂要望に応えるための情報収集を行い、全信工ホームページに掲載した。

(2) 技術・技能研修事業

業務執行委員会が中心となって、表1に示すとおり4月から5月に、全国9地域、延べ12日間、交通信号工事士更新講習会を実施した。

表1 平成27年度交通信号工事技術講習実施状況

講習内容	講習1「交通信号制御機の構成と機能性能について」						
	<ul style="list-style-type: none"> ・交通信号制御機の基本的機能とその性能 ・感知器／押ボタン箱などのインターフェース ・交通信号制御機の機能であるフェールセーフの考え方 ・障害発生時のチェックポイント／外部機器との切り分け ・高度交通システムについて 						
講習内容	講習2「交通信号制御の基礎知識」						
	<ul style="list-style-type: none"> ・信号交差点の渋滞対策と事故防止 ・交差点、設計、運用を基にどのような信号機を設置すれば良いか 						
講習内容	講習3「安全管理の方法」						
	<ul style="list-style-type: none"> ・交通信号機工事において、健康に働くことと安全に作業する方法 ・関連する法令 ・病気や事故防止、事故事例についてのポイント <p>理解しやすいように交通信号工事施工ハンドブックやビデオを活用した。</p>						
受講者	開催都市	札幌	盛岡	さいたま	東京	小田原	
	開催日	5/11	5/13	5/28	4/22、5/19、5/27	4/21	
	受講者数	14	17	30	72	17	
	開催都市	名古屋	大阪		倉敷	福岡	計
	開催日	5/22	4/14、5/15		4/13	4/11	12日間
	受講者数	49	53		22	21	295

(3) 交通信号工事士技能検定事業

交通信号施設工事に従事する人材の育成と専門能力の向上を目的に協会独自の認定資格として、第2種交通信号工事士技能検定試験を平成23年度から会員を対象に実施してきたが、交通信号工事関係者からの強い要請により、平成26年度から受験資格を設けず誰でも参加可能とした結果、平成28年3月31日現在、第2種交通信号

工事士は、2,205名（内行政職員33名）である。

表2 第2種交通信号工事士資格保有状況

取得年度	会員	非会員			計
		一般	行政職員	小計	
H23年度	753	51		51	804
H24年度	634	44		44	678
H25年度	174	2		2	176
H26年度	201	143	19	162	363
H27年度	84	86	14	100	184
計	1,846	326	33	359	2,205

ア 平成27年度第2種交通信号工事士技能検定試験実施状況

平成27年8月3日（日）全国一斉に実施した結果184名（内、行政職員14名）の交通信号工事士が誕生した。

表3 交通信号工事士技能検定実施状況

開催日	平成27年8月3日（日）					
開催地	札幌	仙台	東京	新潟	名古屋	大阪
受験者数	10(3)	23(16)	45(7)	10(2)	20(12)	44(28)
合格者数	6(1)	17(11)	33(6)	9(1)	14(9)	33(20)
開催地	高松	高知	福岡	計		
受験者数	6(3)	26(26)	63(40)	247(137)		
合格者数	4(3)	21(21)	47(28)	184(100)		

注（ ）内は、内数で非会員を示す。

イ 平成27年度交通信号工事士受験準備研修会実施状況

第2種交通信号工事士技能検定受験事前研修会は、教材として、当協会発行の「交通信号工事施工ハンドブック」により、表4のとおり実施した。

表4 交通信号工事士受験準備研修会実施状況

開催都市	開催日	受講者数
札幌	6/15	3(0)
秋田	6/16	2(2)
東京	6/25	26(1)
新潟	6/18	2(0)
愛知	7/14	3(0)
大阪	7/1	14(6)
高知	6/30	21(21)
福岡	6/27	19(4)
計		90(34)

注（ ）内は、内数で非会員を示す。

(3) 協会の目的達成における必要な事業

ア 防災対応委員会活動状況

(ア) 交通信号工事甲子園の開催

a 交通信号工事甲子園（関東版）

(a) 競技目的

交通信号施設及び交通信号工事等に関する基礎的専門知識、技能を有する者が交通信号工事において安全性、正確性及び迅速性を競う。

(b) 開催日場所 平成27年5月20日（水）株式会社カンドー埼玉工場内

(c) 参加者 8企業 来賓 公益財団法人 交通管理技術協会等

(d) 競技状況

競技は、交通信号工事施工ハンドブックに順じ、ベース式信号柱の建込、信号ケーブルの配線及び結線、車両用灯器取付及び結線、そして点灯確認までの工事内容を競い、優勝、準優勝、第3位、アイデア賞、部門賞（安全性、正確性）、技術部門賞及び特別賞が授与された。

b 交通信号工事甲子園（防災版）

(a) 競技目的：防災協定に基づく訓練

(b) 開催日場所：平成27年6月1日（月）株式会社シンコーワ（三重県）

(c) 参加者 9企業 来賓 三重県警察本部交通規制課長他

(d) 競技状況

競技は柱上間のケーブル仮設工事及び結線、歩行者灯器の設置工事及び結線、そして、取り付けた部材の撤去工事を1時間以内で行い、安全性、確実性、迅速性、そして班長の指揮能力について順位を競い、優勝、準優勝、第3位、部門賞（迅速性、正確性、安全性、創意工夫）、最優秀班長賞及び特別賞が授与された。

(イ) 防災対応

a 防災協定に関する実施細目の検討

岩手県警察本部と締結した「災害時における交通安全施設の復旧対策に関する協定」（平成27年3月17日締結）の実施に向け、対策本部構成、非常伝達系統、全国的に人材・資機材を支援する企業、緊急車両指定等について検討した。

b 情報伝達訓練

平成27年度岩手県総合防災訓練に伴う情報伝達訓練を電話及び携帯メールにて実施した。

期 日 平成27年7月12日（日）午前10時から

参加者 岩手県警察本部

全信工：理事長、副理事長、防災対応委員会委員、岩手県内会員

イ 広報委員会活動状況

a 情報発信の取り組み

広報委員会を中心に情報発信内容を検討し、ホームページによる情報発信の他、全信工ニュースを3回（第18号～第20号）発行し、本会会員はもとより、警察庁、都道府県警察に提供した。

b 会員拡大に向けた取り組み

理事長、副理事長、理事、事務局長等が中心となり、7都府県の業者を訪問し
 本会活動の状況を説明し、入会を勧めた結果、会員数は207となった。

表3 会員数の推移（年度別）

		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
入会	正会員	70	30	21	12	9	12	6
	準会員	14	10	20	8	2	17	1
	計	84	40	41	20	11	29	7
退会	正会員			2	4		3	1
	準会員				3	1	10	1
	計			2	7	1	13	2
現在数	正会員	70	100	119	127	136	145	150
	準会員	14	24	44	49	50	57	57
	計	84	124	163	176	186	202	207

c 協会の意義・役割についての理解向上を図る取り組み

各理事等（理事長、副理事長、常務理事、理事、事務局長）が中心となり、警
 察庁をはじめ、警視庁等6の警察機関を訪問し、警察本部長等に協会の目的、活
 動状況等を説明すると共に、「交通信号工事施工ハンドブック」を贈呈し、理解
 向上に努めた。